

当案内および過去に発行した案内は弊社ウェブサイト(<https://www.medience.co.jp/>)よりPDF形式にてダウンロードできます。

新規受託項目のお知らせ

拝啓 時下益々ご清栄のこととお慶び申し上げます。

平素は格別のお引き立てをいただき、厚くお礼申し上げます。

さてこのたび、下記項目の検査受託を開始することとなりましたのでご案内いたします。

弊社では皆様のご要望にお応えすべく、今後とも検査の新規拡大に努めてまいります。

敬具

記

新規受託項目

- [12972] アスペルギルス抗体IgG

受託開始日

- 2024年8月1日(木)



アスペルギルス抗体IgG

アスペルギルス症は、土壌、大気中などに広く分布する環境内常在真菌であるアスペルギルス属 (*Aspergillus*) によって引き起こされる呼吸器感染症です。経気道的に吸入され肺胞や気管支などに病原性を有する *Aspergillus fumigatus* などが定着、増殖することで発症します。

アスペルギルス症は病状進行の期間、基礎疾患により侵襲性肺アスペルギルス症、慢性肺アスペルギルス症に大別されます。確定診断では培養検査の感度が低いことから、血清学的な診断補助検査が重要になります。血清学的検査として、ガラクトマンナン抗原を用いたアスペルギルス抗原や(1→3)-β-D-グルカンが利用されていますが、アスペルギルス抗原は侵襲性肺アスペルギルス症で診断に有用ですが、慢性肺アスペルギルス症では感度、特異度が低いこと、(1→3)-β-D-グルカンは特異度が低いことなどが報告されています。

アスペルギルス抗体IgGは慢性肺アスペルギルス症において感度、特異度ともに高く診断に有用とされてきましたが、保険収載された検査が望まれていました。

このたび、保険収載されたアスペルギルス抗体IgG試薬が発売され、本試薬を用いた検査の受託を開始します。

検査要項

項目コード	12972
検査項目名	アスペルギルス抗体IgG
検体量	血清 0.3mL [容器番号：01番→02番]
保存方法	冷蔵
検査方法	EIA
基準値	判定：陰性(-) 濃度：5.0 AU/mL 未満
判定基準	陰性(-) : 5.0 AU/mL 未満 判定保留(±) : 5.0~9.9 AU/mL 陽性(+) : 10 AU/mL 以上
報告上限	80 AU/mL 以上
報告下限	1.4 AU/mL 未満
所要日数	3~6日
検査実施料	390点*1 ([D012] 感染症免疫学的検査「42」(1→3)-β-D-グルカン 2回分)
判断料	144点(免疫学的検査判断料)
備考	*1：慢性進行性肺アスペルギルス症またはアレルギー性気管支肺アスペルギルス症が疑われる患者に対して測定した場合に、区分番号「D012」感染症免疫学的検査の「42」(1→3)-β-D-グルカンの所定点数2回分を合算した点数を準用して算定できます。 本検査は、関連学会の定める指針に従って実施ください。

参考文献

Dumollard C. et al. : J Clin Microbiol 54 (5) : 1236-42, 2016.